

フッ化物利用を推奨する主な団体

WHO (世界保健機関) FDI (国際歯科連盟)
ORCA (欧州口腔研究協議会) IADR (国際歯学研究学会)

本 国：公衆衛生局、国立衛生研究所、防疫予防センター、環境庁
国立癌研究所、食品医薬品局、歯科学会、歯科医師会、小児科学会、
公衆衛生学会、栄養学会、歯科衛生士会、看護協会、水産学会、地
理 学 会、保健学、王立医学協会、医師会、歯科医師会
カナダ：厚生省、医師会、歯科医師会
アイルランド：歯科医師会 オーストラリア：歯科医師会
ニュージーランド：歯科医師会

日 本：厚生労働省、日本歯科医師会、
日本歯科医学会、日本口腔衛生学会

◎ 氷国の国立癌研究所、食品医薬品局も推奨

1. むし歯予防法

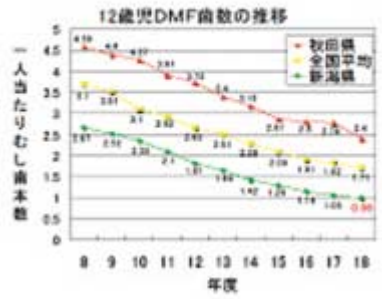
今までのむし歯の予防法ですが、歯磨きをしっかりとすること、甘いものをなるべく食べないようにすることなど生活習慣の改善を柱に行われていました。しかし、それだけでは限界があり、これに加えて歯の質を丈夫にするフッ素の利用が常識となつていきます。できるだけむし歯を減少させるためには長期的なフッ素の利用が有効です。

今年度から湯沢市の保育園児・幼稚園児・小学生を対象に実施されることとなった「フッ素洗口」についてお話しします。

こんにちは、湯沢市雄勝郡歯科医師会です。当会は、定期健診や虫歯・歯周病の予防を中心とする歯科保健事業を推進し、健康な口腔生活を確保することを目標に活動しております。そして、地域の皆様が健康な口腔状態を維持・増進ができるようサポートしたいと考えております。

このたび、広報こまちに投稿する機会をいただきました。地域の皆様のお口の健康に役立つ情報を数回にわたり提供していきたいと思えます。

秋田県の子供のむし歯は減少しているが依然として多い！



おの健康

第1回 むし歯の予防法とフッ素洗口

とっても簡単！フッ素洗口

フッ素洗口には、主に幼稚園・保育園で行われる歯1回法(フッ素塗布がメイン)と、また、小中学校で行われる歯1回法(フッ素塗布がメイン)があります。どちらの方法でも、とっても簡単かつ効果的にフッ素塗布が実施されています。

フッ素洗口は安全で確かな効果が期待でき、集団で行う学校などでは継続して実施できるため、より高い効果が得られます。世界保健機構(WHO)、厚生労働省、日本歯科医学会等も推奨しており、現在全国で約65万人、秋田県内では約1万人の子供たちが実施しております。東成瀬村では平成16年度からはじめています。湯沢市においては、なにごん施設・学校数も多く一斉には行きませんが、関係者のご理解とご協力を得ながら順次実施しています。また、羽後町でも説明会を開催し、本年度内の実施に向けて活動しております。子どもたちの歯の健康保持増進のため、フッ素洗口事業に対するご理解とご協力をお願いします。

フッ素の応用

フッ素の効果

- 1 歯の質を丈夫にする
- 2 口の中の細菌の働きを弱める
- 3 できはじめのむし歯(00)を治すことができる

できはじめのむし歯(00)

2. フッ素洗口

歯質の強化を目的として実施する、安全で確実な永久歯のむし歯予防法です。方法はフッ化物(フッ化ナトリウム)を適量口に含みブクブクうがいをするというものです。

簡便で費用が安く、生えた直後の歯に比較的高い効果が得られることから、学童期を中心とした永久歯のう蝕予防対策として有用な方法です。

最近の報告によれば、予防効果は約30～50%であり、むし歯をほぼ半減できるといわれています。